

国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」指定から10年。指定までに訪れた危機とは…？

危機その1 松並木の伐採が検討

昭和8年、当時の国道4号（現在の県道足立越谷線）の拡幅改良工事により松並木の西側の伐採が国で検討されました。



草加町（当時）は「草加町保勝会」を組織して松並木の保護を開始。その結果、上り・下りの道路を完全に分離・新設する、日本初の道路複線化が採用されました。

危機その2 公害によりマツが激減

昭和40年代、自動車の排気ガスや工場からの排煙等によりマツが枯れ、江戸時代より「千本松原」と呼ばれたほどあっそうと茂っていたマツが約200本に減少。



市の保護の呼びかけや、市民による啓発活動、補植・施肥・並木の清掃等の保護活動が行われました。

先人たちの様々な思いにより守られてきた草加松原。市では、国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存活用計画と整備基本計画を策定。草加松原の風景が守られるように、計画的な整備を行うとともに、観光事業や商標登録によるブランド化などにより、市のシンボルでもある草加松原を活用する取り組みを進めています。

閩生涯学習課 ☎922-2830 ☒922-3498

令和4年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率を公表

閩財政課 ☎922-0761 ☒922-1547

令和4年度の決算に基づき指標を算定した結果、いずれの比率も国が定めた早期健全化基準などを下回っています。

しかし、公共施設の更新等により、実質公債費比率及び将来負担比率は悪化しており、慎重な財政運営が必要です。

健全化判断比率

一般会計や特別会計などの決算に基づき「収支」の赤字と「負債」の大きさから4指標に分け、健全性を示したものです。黄色信号の「早期健全化基準」と、赤信号の「財政再生基準」があり、市はいずれの指標も早期健全化基準を下回っています。

単位：%

健全化判断比率	草加市の指標		早期健全化基準	財政再生基準
	令和4年度	令和3年度		
実質赤字比率 (財政規模に対する一般会計の赤字の割合)	— (△12.60)	— (△12.23)	11.30	20.00
連結実質赤字比率 (財政規模に対する全ての会計の赤字の割合)	— (△34.64)	— (△32.04)	16.30	30.00
実質公債費比率 (財政規模に対する借入金返済額等の割合)	4.3	3.9	25.0	35.00
将来負担比率 (財政規模に対する将来負担すべき負債の割合)	26.9	9.7	350.0	

※実質赤字比率・連結実質赤字比率は赤字がないため「-」と表記しています。(△)は、参考として黒字の比率を表記しています。

資金不足比率

公営企業会計の資金不足を料金収入などの事業規模と比較した指標で、各会計の経営状況を表したものです。いずれも健全です。

単位：%

公営企業名	草加市の指標		経営健全化基準
	令和4年度	令和3年度	
水道事業会計	— (△127.4)	— (△113.3)	20.0
病院事業会計	— (△32.6)	— (△31.4)	20.0
新田西部土地区画整理事業特別会計	—	—	20.0
新田駅西口土地区画整理事業特別会計	—	—	20.0
公共下水道事業特別会計	— (△42.2)	— (△27.3)	20.0

※資金の不足が発生していないため「-」と表記しています。(△)は、参考として資金剰余の比率を表記しています。

※新田西部土地区画整理事業特別会計及び新田駅西口土地区画整理事業特別会計は、資金の不足額及び剰余額が生じていないため「-」と表記しています。

市議会 第3回臨時会 新議長等を選出

議長 白石孝雄
副議長 吉岡 健
監査委員 関 一幸



白石孝雄 議長



吉岡健 副議長



関一幸 監査委員

11/1⑩に開催された市議会第3回臨時会で、議長に白石孝雄議員、副議長に吉岡健議員を選出。また、監査委員に関一幸議員が選任されました。

■白石孝雄 議長 自由市民議員団 3期目 副議長などを歴任 清門1-363

■吉岡健 副議長 SOKA新政議員団 3期目 議会運営委員会委員長などを歴任 新里町1157-3

■関一幸 監査委員 SOKA新政議員団 5期目 議長などを歴任 谷塚町548-1

飛び出す市長! Photo gallery

山川百合子市長が訪問したできごと等を写真で紹介

SDGsの達成のため、草加市と獨協大学は更に連携を深めてまいります

本市と同大学は、平成19年から「草加市・獨協大学基本協定」を締結しており、この度、同協定に「SDGsの達成のための連携」を付加し、再締結しました。更に、まちづくりの課題解決に向けて包括的な連携を進めてまいります。

